平成30年度版 準拠
内閣サイバーセキュリティセンター ガイドライン準拠製品！

革新は、違うカタチをしている。

APPGUARD

BPw, reinventing Cybersecurity

サイバーセキュリティに対する脅威への対応が社会にとって共通の課題となっている今日、エンドポイントセキュリティ対策は、情報を扱う企業・個人の責務でもあります。様々なソフトウェア企業より、アンチウィルス、AI機械学習、振る舞い検知、EDRなど、それぞれの特徴をもった製品が市場で入手可能です。そのどのカテゴリーにも属さない、セキュリティを超えセーフティを追い求める新概念の製品、AppGuardのご紹介です。

単体製品で準拠 APPGUARDとは

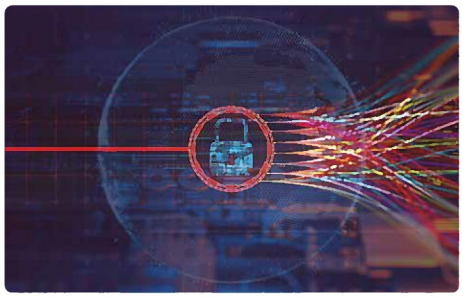
サイバーセキュリティ基本法に基づいて策定された「政府機関等の情報セキュリティ対策のための統一基準群」を解説するガイドラインが、内閣サイバーセキュリティセンター (NISC) により2018年7月25日に発表されました。情報セキュリティ対策のための遵守事項として、「既知及び未知の不正プログラムの検知及びその実行の防止の機能を有するソフトウェアの導入」が含まれており、参照すべきガイドラインとして要約すると下記3点があげられています。

NISCガイドライン	APPGUARD
シグネチャにより検知する方式以外を採用しての未知の脅威への対策	準拠 シグネチャ（定義）ファイルに依存しません
OS のプロセスやメモリ、レジストリへの不正なアクセスや書き込みを監視し、不正プログラムの実行を防止・隔離	準拠 特許取得の隔離技術=Isolation Technologyにより、OSのプロセスやメモリ、レジストリへの不正アクセスを防止
端末への負荷の軽減	準拠 エンジンは1MB以下で軽量、定期的なスキャン・アップデートは不要です

標的型メール攻撃対策、ファイルレスマルウェア対策、ランサムウェア対策

に絶大な効果を発揮する、まったく新しいエンドポイントセキュリティ製品！

AppGuardの特徴

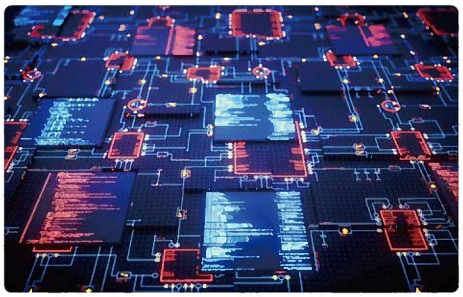


特許取得済みのIsolation技術

マルウェアの検知では無く、システムに害を与える動作を未然に阻止し、システムの安全性を確保します。未知や最新の攻撃から完璧に守ります。

軽量、軽快

エンジンはわずか1MB 以下。スキャンもしないのでシステム負荷がほとんどありません。



アップデート不要

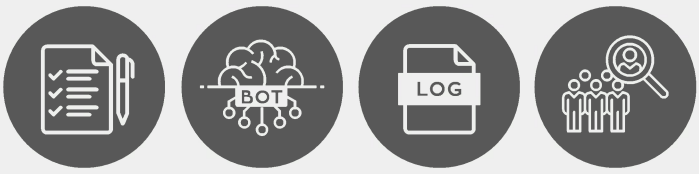
シグネチャファイルやAIエンジンの更新がありません。過去の脅威情報に依存しない新技術になります。

従来型とはまったく異なる新概念 OS プロテクト型

従来型

マルウェアを検知・駆除

※ハッシュ値・振舞いなどを元に検知



シグネチャ　AIエンジン　EDR　振舞い検知

APPGUARD

OSのコア設定を変更させない

※OSのコア設定は変わりません

レジストリの変更　System Spaceへの書き込み　メモリRead&Write

トータルコストの削減

セキュリティコストの全体像は、ライセンス料金だけでは判断することができません。セキュリティ対策全体の運用コスト、インシデントが発生するリスク要因なども加味する必要があります。

従来型対策製品	APPGUARD
定義ファイルやAIエンジンの定期的なダウンロード	不要！
ホワイトリストへの細かい設定	不要！
検知からの対応	感染しないので不要！
ランサム（身代金）の支払い	感染しないので不要！
インシデントへの発生対応	感染しないので不要！

Blue Planet-works
Safety for the Connected World

株式会社Blue Planet-works
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-4-11 Daiwa 神宮前ビル 3F
www.blueplanet-works.com

お問い合わせ

SYSTEM ALPHA

システム・アルファ株式会社

www.system-alpha.co.jp
群馬県前橋市大友町2-23-5
TEL： 027-210-7600